

平成 22 年度第 1 回東久留米市市民環境会議会議録

会議名	平成 22 年度第 1 回東久留米市市民環境会議	
日時	平成 22 年 4 月 26 日(月)19 時～21 時 10 分 於東久留米市役所 7 階 701 会議室	
出席者	出席委員数 14 名	欠席委員数 7 名
出席事務局職員	環境政策課長 同主査(政策調整担当) 同主事(生活環境担当) 同主事(みどりと公園担当)	
次第	<p>あいさつ</p> <p>出欠者の報告</p> <p>(1) 会議録の確認 平成 21 年度第 12 回市民環境会議会議録(案)の確認</p> <p>(2) 事務局からの提案・報告等</p> <p>(3) 庁内環境委員会との懇談について(報告)</p> <p>(4) 全体会 環境フェスティバルについて(実行委員報告) 環境広報部会より「エコ・スクール マップ」の作成報告 水とみどり部会より 調査結果の中間報告 東久留米市・黒目川流域の水循環に係る概略調査報告(案) - 基礎的データの収集と整理</p> <p>(5) その他</p>	
配布資料	<p>平成 21 年度第 12 回市民環境会議会議録(案) ...資料 1</p> <p>東久留米市・黒目川流域の水循環に係る概略調査報告(案) - 基礎的データの収集と整理 ...資料 2</p> <p>第 2 期市民環境会議「水とみどり部会」前期活動 ...当日配布</p>	
会議の内容	<p>(1) 会議録の確認 平成 21 年度第 12 回市民環境会議会議録(案)の内容を確認、了承した。</p> <p>(2) 事務局からの提案・報告等 緑確保の総合的な方針(案)のパブリックコメントの受付が終了した。都内全域 185 件 67 通の意見があった。東久留米市民より 2 通(件数不明)のコメントが寄せられたと聞いている。都と区市町村で合同会議が終了し、都から 5 月末には公表される予定である。 平成 22 年度一般会計予算は、原案が修正の上、可決された。タウンミーティングの開催、事業仕分けの実施等の予算が減額された。大型商業施設の誘致を計画通り進めること等を求める付帯決議案も可決された。 庁内で 4 月 1 日付人事異動があった。環境政策課は異動がなかった。 (仮)湧水・清流保全都市宣言について、市長からは 4 月の臨時議会の施政方針で</p>	

も宣言を検討すると述べられた。スケジュールについては、市長との調整が済み次第、文書でお示しする。5月12日に環境審議会に「湧水・清流保全都市宣言(仮称)」の発表の検討について諮問する予定。その後、環境審議会会長より市民環境会議に対し、これらの内容を検討していただきたい旨の文書が出される予定。そこで市民環境会議内部にプロジェクトチーム(PT)を立ち上げる予定。水とみどり部会員が中心になると思うが、全委員を対象に希望者を募りたい。庁内環境委員会の意見も取り入れていきたい。PTにはパブリックコメントにかける文案をまとめていただきたい。途中で環境審議会等と調整する場面も出てくる。等の説明がされた。

(3) 庁内環境委員会との懇談について(報告)

座長より3月30日に開催された庁内環境委員会との懇談について報告があった。当日は、庁内環境委員11名、市民環境会議委員7名が参加し、初めての会合がもたれた。参加した委員からは反省点として、設定された時間が1時間であったため短かった。当日の記録を残していなかった等の意見があった。

(4) 全体会

環境フェスティバルについて(実行委員報告)

6月に開催される環境フェスティバルの内容が固まってきた。43団体が参加予定である。イベントも決定した。市民環境会議はパネル展示を行うが、説明員・スタンプラリーなどの役割として1名以上の常駐者が必要。実行委員会に参加している委員は複数いるが、委員の作業で展示パネルに常駐はできないため、担当者の希望として、両日とも午後は水とみどり部会から各1名ずつ常駐係を選任していただきたい。なお、ポスターコンクールのインタビュアーは高田委員に願う。等の報告があった。

環境広報部会より「エコ・スクール マップ」の作成報告

昨年10月に「環境教育・環境学習 実施状況アンケート」を実施し、環境フェスティバル発表用に「ひがしくるめ エコ・スクール マップ」を作成した。写真(現在は各学校のホームページから引用している)について、各学校に承諾をいただいた後、公表していく。との報告があった。

水とみどり部会より 調査結果の中間報告

東久留米市・黒目川流域の水循環に係る概略調査報告(案) - 基礎的データの収集と整理

水とみどり部会長より、第2期市民環境会議「水とみどり部会」前期活動の説明があり、引き続き水とみどり部会委員よりパワーポイントを用いての報告があった。

- 1．調査概要
 - (1)「水循環」とは
 - (2) 今回の調査について
- 2．市・流域の水循環に係る環境
 - (1)地形・地質
 - (2)人口・所帯数及び土地利用
 - (3)雨水貯留浸透施設
- 3．域内への水の供給と行方
 - (1)降雨
 - (2)揚水
 - (3)上水と下水
- 4．域内の水文状況
 - (1)地下水位
 - (2)湧水
 - (3)河川流量
- 5．おわりに

(当日配布資料より)

また、11月、3月に実施した市内での湧水調査の結果について報告があった。それとともに生活雑排水の調査も調査した。落合川から11カ所、黒目川から29カ所、立野川から約50カ所の排水が川に流入していることを確認したとのことである。

緑の調査の中間報告があり、現在市内で確認できたのが916種類である。絶滅のおそれのあるもの7種、特定外来種5種等で、今後精度を高めていきたいとのことである。

鳥類(現時点での確認数117種類)、蝶類(同63種類)の調査も行っている。

(5) その他

くらし部会委員より「10月9日に東久留米市の『団塊くるねっと』が清瀬市、東村山市、西東京市、小平市の各民との交流を図るため、出前講座の依頼があり、これを市民環境会議として受託したい」と提案があり、了承した。

終了時刻 21時10分